

## 研究パネル

# 妊娠期の尿失禁状況に関する研究

滝川 節子

県立広島大学保健福祉学部看護学科

## 抄 録

妊娠期の初妊婦と経妊婦の尿失禁状況を明らかにすることを目的とした。調査方法は、自記式質問紙調査票を用いた。調査対象は、妊娠経過が順調な妊婦 60 名（初妊婦 28 名、経妊婦 32 名）。調査内容は、①基本属性、周産期学的調査②妊娠期の尿失禁状態（スコア化された尿失禁問診票と尿失禁スコア表）。その結果妊娠期は、初妊婦 64.3%、経妊婦 84.4% に尿失禁があった。妊娠期の尿失禁発現時期は、初妊婦は妊娠 28 週以降に多かった。経妊婦は妊娠 15 週以降に多く、経妊婦の方が発現時期は早い傾向にあった。しかし、尿失禁発現時期は、両者とも「時期が分からない」が一番多かった。妊娠期の尿失禁の種類と程度は、初妊婦は混合性尿失禁が多く程度は中程度だった。経産婦は腹圧性尿失禁が多く程度は重症だった。これらのことから、妊娠回数が増えると、妊娠期では容易に尿失禁をおこすことが示唆された。

**キーワード：**尿失禁，妊娠期，初妊婦，経妊婦